

明るい未来社会を創る「名大からの人」育成プロジェクト Super Degree Programs (SDPs)

実学概論 A ・ 実学概論基礎 A (工学研究科) (法学部・経済学部)

少資源国の我が国だけでなく、エネルギー問題は国際社会全体に関わる最重要課題の1つである。我が国にとって今後重要な電源候補である火力・原子力・再生可能エネルギー・核融合を考えた場合、単に工学的な技術開発だけでなく環境学・経済学・法学・社会学・哲学など様々な学術分野が大きく関わっている。したがって、これからは、エネルギーの川上から川下まで一貫通した超学際教育による人材育成が必要不可欠となる。本講義では、様々な分野において第一線で活躍されている学内・学外講師による多様な講義とグループワークを通じて、エネルギー学・環境学・経済学・法学・社会学・哲学に関する俯瞰的・複眼的な知識を得ると同時に、2030年目標であるSDGsの視点を踏まえて、2050年のエネルギー・社会問題を見通せる眼力と問題抽出・解決能力の基礎スキルを獲得することを目的とする。

講義日程 (ES総合館3階ES033講義室)

- 第 1回 (4/10) ガイダンス 尾上 順 先生 (工学研究科・教授)
- 第 2回 (4/17) 世界的視座で見たエネルギー・環境問題
白井 均 先生 (元日立総合計画研究所社長・所長)
- 第 3回 (4/24) 脳科学〜心に響くデザイン: 牧 敦 先生 (日立製作所基礎研究所・主管研究員)
- 第 4回 (5/ 1) 地球温暖化と環境政策: 三上直之 先生 (環境学研究科・教授)
- 第 5回 (5/ 8) 国際法からみたエネルギー・環境保護
小畑郁先生 (名古屋大学・名誉教授, 関西大学・客員教授)
- 第 6回 (5/15) 再生可能エネルギーの社会的受容性: 丸山康司 先生 (環境学研究科・教授)
- 第 7回 (5/22) 電力と経済学:
根本二郎 先生 (名古屋大学・名誉教授, 放送大学愛知学習センター・所長)
- 第 8回 (5/29) グループワーク
- 第 9回 (6/ 5) AI時代のデータセンター電力危機: 小林敬幸 先生 (工学研究科・准教授)
- 第10回 (6/19) 分散電源と未来社会
伊藤慎一郎 先生 (トヨタバッテリー・サーキュラーエコノミー推進室・室長)
- 第11回 (6/26) 原子力の課題と未来
浜田誠一 先生 (中部電力・原子力本部統括品質保証G長)
- 第12回 (7/ 3) 核融合と未来: 田口昂哉 先生 (Helical Fusion・代表取締役CEO)
- 第13回 (7/10) サステナブル投資に求められる財務
大島光信 先生 (オリエンタルコンサルタンツグローバル・理事)
- 第14回 (7/17) グループワーク
- 第15-16回 (7/24, 7/31) 個別発表による審査と修了式

○ SDPsについて

人類が地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標としてSDGsがあります。その先に続く未来を考えた時、例えばエネルギー問題であれば、単に工学的な技術開発だけでなく環境学・経済学・法学・社会学・哲学など様々な学術分野を取り込んで問題解決を図る必要があります。そこでSDPsでは、2030年目標であるSDGsの視点を踏まえつつ、2050年のエネルギー・社会問題を見通せる眼力と問題抽出・解決能力の基礎スキルを備えた人材を育成します。



パンフレットは[こちら](#)

お問合せ：法学研究科 教授 三浦 聡 (smiura☆law.nagoya-u.ac.jp)
経済学研究科 教授 園田 正 (sonoda.tadashi.a3☆f.mail.nagoya-u.ac.jp) ☆を@に変更してください
工学研究科 教授 尾上 順 (j-onoe☆energy.nagoya-u.ac.jp)